

講師の横顔

1. 田中昌二郎氏

1965年、京都大学農学部卒業。京都大学山岳部OB、AACK常務理事。JAC（京都支部）会員。1999年北米マウントレーニア登山、2000年崑崙山脈6450m峰初登頂、2001年キリマンジャロ登山、リンプフィッシュホルン峰（パリスアルプス）登山、2002年東チベット・党結真拉峰（5883m）初登頂隊に参加。モンブラン登山、ヨーロッパアルプススキー等に活躍。2004年8月、青海省～チベット自治区～雲南省を旅行。

2. 小林 尚礼氏

1969年生まれ、京都大学工学部大学院（環境工学）修士課程修了。京都大学山岳部OB。AACK理事。水道関連の会社を退職後、山岳写真家の道を歩む。1996年梅里雪山登山、1999年リャンカン・カンリ峰（7535m）初登頂。1998年以降、梅里雪山登山隊の遺体捜索のため、毎年現地を訪問している。「岳人」に「梅里雪山」を連載中。JAC&横断山脈研究会会員。

3. 並河 治氏

1957年、京都大学農学部大学院修士課程修了。京都大学山岳部OB、AACK会員。神奈川県立ワカセンター大船植物園長等を歴任。著書に「バラ栽培 コツとタブー」（講談社）、「農業技術大系 花井編」、「暮しのなかの花」（農文協）、「花のはなし」（技報堂）、「校庭の花」（全国農村青年教育協会）ほか多数。1958年西北ネパール学術探検隊に参加、ムクトヒマール支峰に初登頂。キク科の *Saussurea namikawae* など3新種を発見。

4. 本多 勝一氏

1931年、信州・伊那谷生まれ。朝日新聞社社友。著書、多数。AACK会員。JAC会員。

著書 『大地球遠征隊』（朝日新聞社）	『調べる・聞く・書く』（同）	『六〇歳の記念に登った山山』（悠々社）
『旅立ちの記』（同）	『南京大虐殺』（同）	『大江健三郎の人生』（毎日新聞社）
『知床半島』（同）	『山登りは道草くいながら』（同）	『母が泣いた日』（光文社）
『北洋独航船』（同）	『アムンセンとスコット』（同）	『化』
『極限の民族』（同）	『ソビエト最後の日々』（同）	
『北爆の下』（同）	『はるかなる東洋医学へ』（同）	
『ジャーナリスト』（同）	『五五歳のときに登った山山』（同）	

5. 渋谷 幸弘氏

2003年、筑波大学大学院生命環境科学研究科修了。国際協力機構・地球環境部に所属。大学院ではフィリピンの荒廃林地における森林再生事業について研究。現在は、インドネシア、ラオス、ベトナム、フィリピンにおける森林林業分野の技術協力に携わる。

6. 安仁屋政武氏

1967年、京都大学文学部卒業。Ph.D. 京都大学山岳部OB、AACK会員。筑波大学大学院生命環境科学研究科教授、生命共存科学専攻。専門分野（同学WEBより）；氷河・氷河地形学（自然地理学）、リモートセンシング、GIS。1987年、第29次南極観測隊（夏隊）隊員、1989年梅里雪山第1次学術登山隊学術隊員、1995年キリマンジャロ、1998年ケニア山、何れも調査業務で登頂。1983年から氷河・氷河地形の調査で、南米パタゴニア氷原を10回訪問。